

「万が一」に備えて500人が訓練

明和町総合防災訓練



水災防ぎょ活動訓練（月の輪工法）

第17回明和町総合防災訓練が防災の日の9月1日、中学校校庭で開かれ、消防団、婦人消防隊、区長会、東・西小学校少年消防クラブ、消防署、役場など12団体、約500人の参加者が本番さながらの訓練を繰り広げました。

訓練は、いざというときの大規模災害に備え、防災活動の技術向上と町民の皆さんの災害に対する意識を高めようと開催。震度6弱の烈震に見舞われ家屋の倒壊や火災が発生し、さらに大型台風の接近で河川が増水し、堤防に亀裂が生じたという想定で、住民の避難訓練をはじめ、初期消火、心肺蘇生救護、水災防ぎょ活動、有毒ガス対応、高層建物救出救助など12項目の訓練が行われました。

訓練本部長の斎藤町長は「実践さながらの訓練を体験し、一段と



有毒ガス対応訓練

心強さを覚え、万が一の災害時になんらの不安もなく皆様に「ご期待いたします」と講評を述べました。



建物火災消火訓練



油火災消火訓練



少年消防クラブ員がバケツリレーで初期消火

秋の全国交通安全運動

期間
9月21日(土)～30日(月)

スローガン

「事故のない 群馬の未来はあなたから」

運動の重点

高齢者の交通事故防止

交通事故死者の約5割が65歳以上の高齢者です。

歩行中に事故に巻き込まれることが多いほか、運転中の事故も増えています。

運転者の皆さんは、高齢者の安全に配慮した運転を、また、高齢者の皆さんも事故に遭わないよう十分注意してください。

「止まって確かめる」運動の推進

交通事故の大半は、安全確認がなされず、もしくは不十分なことから発生しています。

一時停止場所では、必ず止まって、左右の安全を確認しましょう。

シートベルトとチャイルドシート

の着用の徹底

事故はいつ起きるか分かりません。もしものときに備え、運転者も同乗者も車に乗ったらシートベルトの着用を習慣付けましょう。子どもには体格に合ったチャイルドシートを使用しましょう。